

## 第二十八回『鶴彬』川柳大賞

自由と反戦をつらぬいた魂の川柳作家『鶴彬』彼の思いを受け継ぐ川柳を全国から広く募集します。

主催 鶴彬を顕彰する会 かほく市川柳協会

後援 かほく市教育委員会 かほく市文化協会

(一社)全日本川柳協会 石川県川柳協会 和川柳社 北陸中日新聞

### 募集要項【作品募集】

#### ◆作品内容 「現代を鋭く風刺した、新しい感覚の川柳」

選者 赤池加久(石川県川柳協会 会長)

岩佐ダン吉(大阪 あかつき川柳会 会長)

植竹団 朗(東京川柳成増吟社 会長)

佐藤 岳 俊(岩手県川柳連盟 顧問)

高鶴 礼 子(埼玉「ノエマ・ノエシス」主宰)

遠田 亀公子(石川 かほく市川柳協会 幹事)

応募規定 1 自作の未発表作品に限ります。応募資格は問いません。

2 応募用紙は自由、楷書で明確にお書きください。応募点数は一人二句以内とします。

3 二重投句、また投句後の作品の訂正、差し替えはできません。また、同一作品、

酷似作品が先行して発表していた場合は、入選・入賞を辞退していただきます。

4 氏名、住所、性別、電話番号を明記してください。雅号の場合は本人名を併記。

5 作品の返却はしません。\*入賞作品の使用権は主催者に帰属するものとします。

投句料 一人金1000円 \*代金は小為替で(切手不可)作品に同封してください。

応募期間 2023年5月20日(土)～7月20日(月) 当日消印有効

選考方法 各選者の持ち点数を加算した総合計点により順位を決定します。

賞表彰 1 鶴彬大賞(1句)・表彰状+1万円相当の、かほく市特産品を贈呈。

2 優秀賞(3句)・表彰状+5千円相当の、かほく市特産品を贈呈。

3 佳作賞(5句)・3千円相当の、かほく市特産品を贈呈。

4 入選賞(若干)・記念品を贈呈。

発表 9月1日(金)「第11回鶴彬フェスティバル」会場で発表。

投句者全員に、後日入賞、入選作品の発表誌を送付いたします。

応募先 〒929-1215 石川県かほく市高松ク42番地

かほく市高松公民館・第28回「鶴彬川柳大賞」公募係宛

問合せ先 かほく市川柳協会 事務局 小山広助 気付

☎/fax (076)281-1201 / 携帯 090-4323-1754 / E-mail : turuaki@yahoo.co.jp

投句者各位

謹啓 入梅の季節となりました。こゝ尊台にはますます「清栄のこととお慶び申し上げます。各位には、毎年「鶴彬川柳大賞」に投句いただきましてありがとうございます。本年も、自由と反戦をうらめいた鶴彬の魂「現代を鋭く風刺した、新しい感覚の川柳」を募集しますので、日頃の思いを吐いてください。

謹白

今年には鶴彬没後八十五年を迎えます。

鶴彬(本名 喜多一二)明治四十二年一月一日、石川県高松町(現在はかほく市)に生れる。十五歳のころから川柳を作りはじめた。

昭和初期、日本が中国への侵略戦争に突入していく暗黒の時代に、「川柳」の革新と芸術的向上を目指し、その「川柳」を武器に、反戦・反権力を貫いた。軍隊内での反戦活動で逮捕され服役した二年間除き、1937年(昭和十二年)12月、治安維持法で逮捕され、留置場で赤痢にかかり、翌年9月14日、29歳で亡くなるまでの短い間に1044句の川柳、94の評論、18編の自由詩などを残した。

★鶴彬の川柳は、当初の若い時の作品を除けば、従来の一般的な川柳と全く違います。鶴彬の目線の先にある対象は、彼が生きた時代の時事問題や世相です。鶴彬の川柳は、時事、世相の深層に潜むものを題材にし、彼固有の感性、洞察力から作られた作品が大半です。

鶴彬の強烈な批判精神、日常生活にひそむ社会の矛盾・不合理を見出す鶴彬特有の嗅覚、革新川柳への並々ならぬ気概と執念、常人を超える不屈の反骨精神と勇氣、これらを生み出した源が鶴彬の川柳。その一字一字に込められた「憤怒」……

〔投句応募用紙〕

※文字は楷書で鮮明にお書きください。 ※記入いただいた個人情報、入選作品の作成と配布に使用し、※姓・雅号にはふりがなを振ってください。 また、「鶴彬」川柳の普及活動に使用させていただきます。

都道府県名	
住所	T
姓号または本名	ふりがな
男・女	
電話番号	
No.	

投句料のお支払い方法に  
○印をつけてください。  
・郵便小為替

【作品内容】

◆『自由吟』現代を鋭く風刺した新しい感覚の川柳。

②	①
No.	